

2010年4月20日発行

第93号



# 友の会ニュース

発行所  
神奈川県東部建設協同組合  
〒216-0011川崎市宮前区犬蔵1-4-14  
TEL044-976-1151  
FAX044-976-0557  
フリーダイヤル0120-633-306  
定価10円  
発行人 白田武美

## 国産材で家を建てる

使われすぎで荒れる日本の森林・使われすぎで荒れる世界の森林

### アムールトラの危機

アムールトラは、ロシア極東のウスリ  
ータイガと呼ばれる森林地帯に生息する  
ネコ科最大の動物です。現在、野生の個  
体数が約400〜500頭と推定され、絶滅が危  
惧されています。

アムールトラの個体数が激減した最大  
の原因としてタイガと呼ばれる森林地帯  
の減少があげられます。ロシアの資源開  
発に加え、隣国中国のめざましい経済発  
展は木材の需要を急増させました。需要  
があれば開発が進みます。開発の為の道  
路は密猟者の侵入、森林火災、違法伐採  
を加速度的に高めていき、アムールトラ  
のすむ森は、次第に狭められています。

違法に伐採された材木は中国で家具な  
どに加工され材木の出所はわからなくな  
り日本などに輸出されているものも少な  
くありません。

アムールトラばか  
りでなく、スマトラ  
島のオランウータン  
などの絶滅の危機に  
瀕している動物達は  
森林減少の影響を受  
けています。

### 日本の森林

国土の67%が森林に覆われ、その内の  
40%は一本一本手植えた人工林です。  
人工林は、植林・育成・伐採を繰り返  
しながら林業として今日まで受け継がれ  
てきました。木は一年ごとに年輪を増やし  
、丁度、それは1年の全木材需要に匹敵す  
る量になります。言い換えれば、使つて  
も減らない状態なのです。

国産材の需要が森林を健全に保つほど  
には伸びていません。林業に従事する人  
は減少し続け、日本の山は使われないこ  
とによって荒廃の一途をたどっています。

### 吸収と排出

最近では、公共の建物に国産材の利用  
を促進したり、大手住宅メーカーも国産  
材の使用に積極的になったりしています  
が、国内の森林が吸収するCO<sub>2</sub>の量は、政  
府が期待していた数字を大きく下回って  
います。

若い木はCO<sub>2</sub>を多く吸収しますが、成長  
しきった木の吸収量は著しく低下します。  
林業の衰退で、若い木は育っていません。  
森林のCO<sub>2</sub>吸収量を超えた量を排出し続け  
れば、温暖化がとまる事はないのです。

政策としてエコカー減税やエコポイ  
ントなど、省エネに対する優遇措置が  
されています。また様々な企業が省エ  
ネ製品を開発しています。家電や車だ  
けでなく、建材にも多くの省エネ商品  
が普及してきています。しかし、これ  
らはCO<sub>2</sub>排出量の減少のためのもので吸  
収を増やす訳ではありません。  
CO<sub>2</sub>の吸収と排出のバランスが大きく  
崩れた現状では排出量を抑えること・  
森林のCO<sub>2</sub>吸収量をふやすことの2点を  
一人ひとりが真剣に考えなくてはなら  
ないのです。

※※※※※※※※※※※※

当組合では、お客様と森林をつなげ  
る役割をしたいと思います。

国産材を利用し建てる住宅の良さを、  
多くの方に理解していただきたい。

そして国産材の需要を高くして森林  
を守りたい。

そんな思いから、これから住宅を建  
てる方、リフォームを考えて  
いる方に国産材をお奨

めしています。

次の世代に、  
クリーンな環境  
をつなぐために  
今できることを  
提案してまいり  
ます。

住まいのご相談は  
お気軽にフリーダイヤル  
でお問い合わせ下さい。